

男性作家は女性をどのように描いたのか？

日時：2019年12月21日(土) 午後1時30分～午後4時30分

会場：大阪府立大学 I-site なんば 2階 C2・C3

1時30分～2時30分

ゴッフル兄弟『マネット・サロモン』 における画家とモデルの関係

村田 京子（大阪府立大学教授）

19世紀フランス文学において、画家や絵画のテーマはとりわけ男性作家が好んだテーマです。ゴッフル兄弟の『マネット・サロモン』を中心に、バルザックの『知られざる傑作』、ゾラの『制作』とも比較しながら、男性画家と女性モデルの関係を見ていきたいと思います。



2時45分～3時45分

若い女性たちの表象と現実

小倉 孝誠（慶應義塾大学教授）

若い女性は昔から文学に登場しますが、19世紀から20世紀初頭の時代にとりわけ存在感を増します。当時の男性作家にとって、若い女性は魅力的な対象であると同時に、謎めいた存在でもありました。ゴッフル、ゾラ、プルースト、マルグリットなどの作品をとおして、その両義性を考察します。



4時～4時30分 講演者との質疑応答

参加費 500円（大阪府立大学 学生・教職員は無料）

申込方法 ①氏名（ふりがな）、②住所、③電話番号を記して、WEBお問い合わせフォームまたはFAXでお申し込みください。

申込先 大阪府立大学女性学研究センター

- WEBお問い合わせフォームはこちらから
www.human.osakafu-u.ac.jp/w-center
- FAX 072-254-9947

問合せ先

大阪府立大学女性学研究センター

■ TEL 072-254-9948
(土日・祝日を除く、午後2時～午後5時)

■ WEB お問い合わせフォームもご利用いただけます。

- 当日参加もできますが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。
- お申し込みの際の個人情報、本講座の事務連絡、統計資料等の作成、本学公開講座等のご案内以外に、一切使用いたしません。

会場の I-site なんばまでの交通アクセスは裏面をご参照ください。

大阪府立大学女性学研究センター

2019年度 第23期女性学講演会 第2部「文学とジェンダー」

男性作家は女性をどのように描いたのか？

会場までのアクセス

大阪府立大学 I-site なんば
(南海なんば第1ビル 2階)

大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号

- 南海電鉄「なんば」駅より
南海線高架沿いの道を南へ約800m、
徒歩約12分
- 地下鉄「なんば」駅 (Osaka Metro
御堂筋線) 5号出口より
南へ約1,000m、徒歩約15分
- 地下鉄「大国町」駅 (Osaka Metro
御堂筋線・四つ橋線) 1号出口より
東へ約450m、徒歩約7分
- 地下鉄「恵美須町」駅 (Osaka
Metro 堺筋線) 1-B出口より
西へ約450m、徒歩約7分
- 南海電鉄高野線「今宮戎」駅より
北へ420m、徒歩約6分



※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

※建物北側の大阪府立大学専用入口からお入りください。

【主催】大阪府立大学女性学研究センター

大阪府立大学人間社会システム科学研究科 (人間社会学専攻人間科学分野) 「文学とジェンダー」共同研究プロジェクト